

令和4年度 第4回第2期和光市スポーツ推進計画策定委員会 会議録（要録）

1 日 時 令和4年12月9日（金）18時00分～20時00分

2 場 所 和光市役所 6階 602会議室

3 出席者 7名

委員名	選任の区分	備考	出欠席
◎飯田 路佳	第1号委員 (学識経験を有する者)	十文字学園女子大学人間生活学部 健康栄養学科	○
大多賀 政昭		国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部	○
横島 秋男	第2号委員 (市内関係団体を代表する者)	和光市スポーツ協会	○
○朽木 亮		和光市スポーツ推進委員連絡協議会	
冨澤 勝広		和光市スポーツ少年団本部	○
藤 律之		和光市小中学校長会	○
荒木 保敏		和光市社会福祉協議会	
山崎 岩男		和光市生きいきクラブ連合会	
新井 悦子		和光市青少年を育てる会連合会	○
鷹栖 藍太郎	第3号委員 (公募による市民)		○
尾野 日登美			

◎委員長 ○副委員長

（事務局）スポーツ青少年課 鈴木課長・森谷課長補佐・小林統括主査・吉鶴主事

4 傍聴者 なし

議題1 和光第2期和光市スポーツ推進計画の素案について

【事務局】

前回の策定委員会において、計画の骨子を説明させていただきました。また、10月15日・18日に開催した意見交換会でいただいたご意見とスポーツ推進に係る各課の施策のとりまとめをもとに、第2期和光市スポーツ推進計画の素案を作成いたしました。

なお、意見交換会については、合計18名の方にご参加いただきました。スポーツにかかる3つのテーマについて、計画にも活かすべきご意見やスポーツにかかる現場の生のご意見、また、計画実施のヒントとなるご意見等、様々なご意見をいただき、大変有意義なものであったと感じております。

素案につきましては、「第1章 計画の概要」「第2章 和光市における現状と課題」「第3章 計画の基本理念・基本方針」「第4章 施策の展開」「第5章 計画の推進」の5つの章からなるもので、前回の説明では、第3章の計画の基本理念・基本方針の一部までご説明させていただきました。本日ににつきましては、あらためて、前回からの修正を含め、「第3章 計画の基本理念・基本方針」、各課の施策を記載した、「第4章 施策の展開」、併せて、「第5章の計画の推進」について、ご説明させていただきます。

始めに、前回の策定委員会でご提示させていただいた骨子案からの、修正についてご説

明いたします。

具体的な内容についてですが、微細な文言の修正等は省略させていただき、主要な変更点にのみ絞って、ご説明いたします。

【第1章から第3章まで】

まず「第1章 計画の概要」における主な修正でございますが、4ページから始まります「6 スポーツをめぐる現状」における「2 県の動向」について、6ページの中段に表形式でお示ししている（令和5年3月策定予定）の「第3期埼玉県スポーツ推進計画の概要」を、10月に行われましたパブリックコメントにおいて示された計画素案に従って、内容を更新しております。

続く、「3 現在の社会情勢」において、7ページの「③東京2020大会の開催」について、後半に、「オリンピック・レガシー」の継承に関わる記述を追加いたしました。

また、「④SDGsへの役割」において、骨子案では「第五次和光市総合振興計画基本構想」におけるSDGsとのかかわりあいについての内容を記載していましたが、素案では、「第3章 計画の基本理念・基本方針」において項目を別に設けまして、そちらに記載しております。

記載の内容については、後ほどご説明させていただきます。

続く、「⑤新型コロナウイルス感染症への対応」においては、スポーツ庁ホームページから、「安全に運動・スポーツをする」ポイントや「運動事例についてのリーフレット」を掲載いたしました。

続いて、「第2章 和光市における現状と課題」における変更点をご説明させていただきます。

まず、「1 和光市を取り巻く環境」で、「骨子案」では「人の動き」として「通勤・通学者」の状況を、グラフや図を用いてお示ししておりましたが、「スポーツの振興」との関わりが分かりにくいというご意見をいただきまして、素案からは削除いたしました。

また、10ページの「(2) 市民の健康状況」の「① 子どもの体力」にお示ししている表に、骨子案ではデータ収集中としておりました、和光市の小中学生の数値を、記載いたしました。

続いて、12ページの「(3) 市内のスポーツ施設の状況」に和光市の主なスポーツ施設の位置図を掲載するとともに、続く13、14ページの表には、令和3年度の利用状況の数値を記載いたしました。併せて、新たに「和光市アーバンアクア公園」と「和光市民プール」の利用状況の推移を追加いたしました。

続いて、「2 スポーツ・レクリエーション活動に関する市民意識調査結果」では、22ページに、「行っているスポーツの種類別」に「スポーツを行う主な場所」を示したグラフと説明文を、新たに掲載しております。

続きまして、「3 現計画の評価」では、31ページの中項目の「数値目標の達成状況」の表の中で、骨子案では「集計中」としておりました「7-1 親子で参加できる事業数を増加させます」と「10 児童センター（館）で行うスポーツ関連事業数を平成24年度比10%増とします」の項目で、令和3年度の値を新たに記載し、併せて、評価の内容を更新いたしました。

続きまして、32 ページからの「実施事業の評価」では、構成を変更して、初めに「実施事業一覧」を掲載いたしまして、続いて「取組が期待とおりに行われなかった事業」と「実施できなかった事業」のそれぞれを、「する」「観る」「支える」スポーツと「スポーツ活動の場づくりについて」の項目ごとに、整理し、最後に、34 ページにおいて、「事業実施状況のまとめ」としてお示しする形といたしました。

これらの修正を受ける形で、34 ページからの「4 今後の計画における課題」の記述内容についても、和光市の現状から得られた課題として整理し直しております。

続きまして、「第3章 計画の基本理念・基本方針」における変更点について、ご説明させていただきます。

まず、39 ページにお示ししている「基本理念」についてでございますが、骨子案では「スポーツ活動の推進による、健康で活力にあふれた和光」としておりましたが、「スポーツ」という言葉自体が「活動」の意味を持つ言葉であるため、「スポーツ活動」という表現から「活動」を除いて、基本理念を「スポーツの推進による、健康で活力にあふれた和光」と修正いたしました。

続いて、同じページの下段において、「持続可能な社会に向けた取組」という項目を設けて、第五回和光市総合振興計画基本構想」とSDGsとの関わりを踏襲し、本計画においても、SDGsの17目標のうち、目標3「すべての人に健康と福祉を」及び、目標4「質の高い教育をみんなに」に沿った施策を推進していくことを記載させていただいております。

続いて、40 ページの施策の体系でございますが、基本方針3を「地域におけるスポーツ活動の活性化」から施策の内容に即した「スポーツを通じた地域活動の充実」に表現を修正いたしました。

また、「施策の方向性」においては、「5 スポーツによる共生社会の実現」を、前回お示した骨子案、基本方針1というところに含まれておりましたが、策定委員会でのご指摘を反映し基本方針2へ移動いたしました。

「基本施策」につきましては、前回の策定委員会では、まだ内容が決まっておらなかったため空欄としておりましたが、庁内各課との調整及び検討を行ってまいりまして、今回の素案ではご覧いただいておりますとおり、表記をさせていただいております。

それぞれの内容につきましては、続く、「第4章 施策の展開」において、ご説明させていただきます。

次に、「3 基本方針」についてですが、「骨子案」では、施策の体系の前に提示しておりましたが、素案では、施策の体系をご覧いただいてから、「基本方針」の内容説明をさせていただこうと、施策の体系の後に移動いたしました。

また、「基本方針2」の内容を、市が重視する「社会課題」である「健康」「共生社会」「地域の活性化」といった、イメージできる文言に修正させていただきました。

ここで1点修正がございまして、40 ページの施策の体系でございますが、基本方針3の「施策の方向性」「スポーツ団体の活動支援」に付随します、基本施策（1）の「スポーツ団体におけるスポーツの充実」とここで表記しておりますが、こちらのミスで修正漏れをしておりました、実際には、「スポーツ団体活動の充実」という文言が正しいものとなって

おります。

【委員長】

事務局から第3章までご説明いただきました。事務局からの説明を受けて質問等ございますでしょうか。

特にないので、続きからの説明をお願いいたします。

【事務局】

〔第4章から第5章まで〕

続いて、「第4章 施策の展開」について、ご説明いたします。

まず、43 ページ「基本方針 1 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実」についてですが、先ほどの「施策の体系図」にありましたとおり、2つの「施策の方向性」を設定しております。

そのうち1つ目である「1 ライフステージに応じたスポーツ環境の充実」では、市の現状を受け、「ライフステージに合わせた運動、スポーツに取り組める場所や機会の提供」が課題であることから、こちらにお示ししているとおり、「スポーツへの取組を習慣化することで、体の健康の維持・増進と併せて、心の健康の保持・増進が期待できることから、市内のスポーツ関連団体と協力・連携してスポーツプログラムの充実を図り、子どもから高齢者まで、誰もがそれぞれの目的・関心・適性等に応じて簡単にスポーツを始められる場所や機会の提供に取り組む」ことを方向性の内容としております。

なお、計画の進捗・達成状況を計る指標としまして「週1回以上スポーツをする人の割合」と「市が実施するスポーツ事業に参加した事がある人の割合」の二つを設定しております。

こちらで二つ目の指標の後ろに新規と書いてあるところがございますが、逆に新規と書いていない項目につきましては、これまでの現行計画の方での指標に設定していたものでございますが、新規と書いてある指標につきましては、今回の計画を作成するにあたって、新たに取り入れさせていただいた指標となっております。

「基本施策」としては、3ページにお示ししている「計画における対象区分」ごとに、主に、現行計画において『「する」スポーツ』として取り組んできた施策を設定しております。

なお、44 ページの「中間年齢層期におけるスポーツの充実」では、本市の「第二次健康わこう21計画」と整合を図り、「⑤現役世代に対する健康増進支援の実施」を新たな実施施策として設定しております。

続きまして、45 ページの中段からはじまります、「2 多様なスポーツ活動の推進」では、「スポーツに取り組む機会の創出」とともに、「スポーツ施設の計画的な更新」が本市の課題であることから、「より多くの市民がスポーツを気軽に楽しめる環境を提供するために、地域の公共施設の有効活用や利便性を高める取組を行うとともに、市内のスポーツ施設について、修繕や整備を計画的に行っていく」ことを「方向性」の内容としております。

このような計画の進捗・達成状況を計る指標としては、「体験型スポーツ事業の参加者数」と「年1回以上、スポーツを現地で観戦したことがある市民の割合」、「市内のスポーツ施設の延べ利用人数」の3つを設定しております。

「基本施策」としては、「施策の体系図」においてお示ししておりますが、幅広い年代を対象としたスポーツ事業の開催、「観る」スポーツの推進スポーツ活動の場づくり、スポーツ情報の積極的な発信、安心・安全なスポーツ事業への取組の5つを「基本施策」として設定しており、このうち、5つ目の「安心・安全なスポーツ事業への取組」は、現行の計画での取組と併せ、10月に実施しました「意見交換会」におけるご意見を反映した施策となっております。

続きまして、「基本方針2 スポーツによる社会課題の解決」についてですが、先ほどの「施策の体系図」にありましたとおり、「スポーツを通じた地域の活性化」「スポーツを通じた健康づくりを推進」「スポーツによる共生社会の実現」の3つを「施策の方向性」として設定しております。

「スポーツを通じた地域の活性化」では、こちらにお示ししているとおり、「スポーツに取り組むことで、健康・体力づくりだけでなく、他者との交流を深め、コミュニティ形成や強化につながることで、地域の活性化が図られることが期待されることから、多くの市民がスポーツにかかわりを持ち、それぞれの取組が、市民同士のつながりを形成することを目指す」ということを施策の方向性の内容としております。

計画の進捗・達成状況を計る指標としては、「定期的に運動やスポーツを行うクラブやサークルに加入している人の割合」を設定しております。

「基本施策」としては、「スポーツを通じた交流人口の拡大」「民間企業との協働事業の推進」「アスリートと触れる機会の充実」の3つを設定しており、現行計画における『「する」スポーツ』や『「観る」スポーツ』として取り組んできた施策を中心として設定しております。

続いての「スポーツを通じた健康づくりを推進」では、高齢化社会の進捗に伴い、健康寿命をいかに延ばしていくかが課題であることから、「スポーツを通じた健康づくりとして、誰でも、どこでも行うことができるスポーツの普及を行う」ことを、施策の方向性の内容としております。

計画の進捗・達成状況を計る指標としては、「健康づくりを目的とした事業の参加者数」と「高齢者で週1回以上運動をしている者の割合」の二つを設定しております。

「基本施策」としては、「基本方針1 誰もがスポーツを楽しめる環境の充実」における施策の方向性1「ライフステージに応じたスポーツ環境の充実」から、「中間年齢層期（15～60歳）におけるスポーツの充実」、「退職後・高齢期におけるスポーツの充実」の二つを再掲するとともに、「健康づくりを意識したスポーツの推進」を設け、市民の健康づくりを図る取組を行っていきます。

続いて、「スポーツによる共生社会の実現」では、「東京2020大会に向けて行ってきた各種の施策をレガシーとして継承し、スポーツを通じた国際交流や協力の機会の創出、障害者スポーツの推進、ボランティアの活用等、共生社会の実現に向け、様々な取組を推進していくこと」を、施策の方向性の内容としております。

計画の進捗・達成状況を計る指標として、「週に1回以上スポーツをする障害者（成人）の割合」と「障害者スポーツを観戦したり体験したことがある人の割合」の二つを設定しております。

「基本施策」の一つ目の「気軽にできるスポーツ・レクリエーションの推進」は、現行計画において「する」スポーツとして取り組んできた施策と共に、10月に実施した「意見交換会」におけるご意見を反映した施策となっております。

二つ目の、「障害者におけるスポーツ活動の推進」は現行計画において「する」スポーツとして取り組んできた施策を、本計画においても引き続き実施していく施策となっており、三つ目の、「スポーツの国際化」は、「東京 2020 大会」のレガシーを継承するという課題を反映した施策となっております。

「基本方針3 スポーツを通じた地域活動の充実」についてですが、こちらは、「スポーツ団体の活動支援」「スポーツを支える人材の育成・確保」の2つの「施策の方向性」から成っております。

「スポーツ団体の活動支援」では、『本市のスポーツ推進に重要な役割を果たしている、「スポーツ協会やスポーツ推進委員、その他の地域団体等」や、本市のスポーツの推進に貢献している「スポーツ競技団体等には加盟せずにスポーツを楽しんでいる個人、スポーツ団体」も数多くあることから、このようなスポーツ関連団体と協力・連携を図りながら、引き続き、市のスポーツ事業の推進に取り組んでいく』ことを施策の方向性の内容としております。

なお、計画の進捗・達成状況を計る指標として、「市のスポーツ施設のホームページ閲覧数」を設定しております。

「基本施策」としては、「スポーツ団体活動の充実」「地域におけるスポーツの充実」の二つを設定しており、現行計画において「する」スポーツとして取り組んできた施策を中心とした取組を行っていきます。

最後に7つ目の「スポーツを支える人材の育成・確保」では、「スポーツに取り組むには、指導者や審判のほか、多くのボランティア等の関係者による「ささえる」人が必要不可欠であることから、スポーツボランティアに関する情報を積極的に提供する等、ボランティア活動の支援を行うほか、スポーツ推進委員や市内で活動するスポーツ関連団体と協力・連携し、人材育成を含めたスポーツ推進に取り組んでいく」ことを方向性の内容としております。

なお、計画の進捗・達成状況を計る指標として、「最近1年間でスポーツボランティアとして参加した経験がある18歳以上の人の割合」と「スポーツ推進委員の認知度」の二つを設定しております。

「基本施策」としては、「指導者の育成と資質向上」「スポーツボランティアの確保と活用」「スポーツ推進委員の活性化」の3つを設定しており、市のスポーツ推進を支える人材の育成が課題であることから、課題の解決に向けた取組を行っていきます。

最後に、「第5章 計画の推進」について、ご説明いたします。

57ページにお示ししている「1 計画の推進体制」においては、計画の各施策を総合的かつ計画的に推進していくために必要となる方策について、取りまとめており、58ページでは、「2 計画の進行管理」としては、「PDCA」サイクルを踏まえ、随時、施策の評価及び進捗管理、改善策の検討、必要な見直しをスポーツ推進課において行うことを記載しております。

以上をもちまして、「第2期和光市スポーツ推進計画の素案」の説明とさせていただきます。

事務局において、作成した素案については、今後、皆様からご意見をいただき、その後パブリック・コメントの実施等を予定しております。

【委員長】

事務局からの説明を受けてのご意見はございますでしょうか。

【委員】

意見交換会について質問します。どのような方を対象に呼びかけられたのか、11名と7名の参加者の特性というのはこういった方なののでしょうか。

【事務局】

市内のスポーツ・体育施設に関係する運営に携わる方であったり、老人会の方々にご参加いただきました。募集は広報わこうや市のホームページで周知いたしました。そのほか、PTAの関係者にお声がけし、ご参加いただきました。

【委員】

そういった多様な方が参加された会だったということが分かりました。

あとは全体的なところで簡単にはなりますが、計画書で気になったところをいくつか意見させていただきます。

2ページ目のスポーツ推進計画の位置付け図です。

このスポーツ推進計画から右に伸びている関連計画、教育振興基本計画、地域福祉計画、子育て支援計画が載っているのですが、福祉の専門家からすると地域福祉計画の下に子どもだけ載っているのは気になります。子どもを載せるのであれば障害と高齢も載せた方がいいと思います。

【事務局】

その他の計画の記載については、確認し、整理いたします。

【委員】

また、45ページにある指標5については、環境整備という観点からでは全体的に足りない部分があると感じます。また、それも気になるのですが、スポーツ施設の利用者をモニタリングするという指標で、現状値が46万人で、目標値が50万人となっていますが、他は結構意欲的な目標設定が見受けられますが、ここは結構控え目な設定になっているのが気になりました。下に教育振興基本計画における令和7年度の目標値を令和9年度に適用しますと書かれていて、何か言われなかなと気になりますね。何か理由があってこの数値になっていると思いますが、そのあたりについての説明をお願いします。

【事務局】

こちらは令和元年度の現状値ということで数値を記載させていただいております。

近年のコロナ渦の関係で、市の施設が利用停止等があり、手元に昨年度の集計がないのですが、かなり落ち込んだという経過があります。最近では復調の兆しが見えておりますが、なかなか伸び率が良くないため、令和7年の数値を目標値として設定した形になります。状況的には復調の兆しが見えておりますので、もう少し積極的な数値としてもと仰られる意見は参考にさせていただきます。

【 委員 】

設定理由が分からなかったため、確認させていただきました。計画書の中でも経緯が分かれば、読み手に伝わり易いと思います。

【 事務局 】

いただいたご意見については、説明を記載する方向で整理させていただきます。

【 委員 】

最後になりますが、一番気になったのが 53 ページの指標 11 としてホームページ閲覧数とありますが、これがすごく気になりました。このホームページを閲覧した人をモニタリングとありますが、現状値が分からない状況で記載されています。意見交換会でも周知が大事とたくさん言われているので、当市に関心を持ってもらう、当市開催のイベントを知ってもらう等、当市の色々な環境を知ってもらうというのはたしかに重要なことではあると思うのですが、この数値が指標として相応しいかどうかというのは疑問に思います。市民が関心を持ってくれているのか、それに対する和光市の取組を示すものをアウトプットとしてモニタリングしていくことの設定ができないのかと思いました。

例えば、47 ページの欄に多様化する情報発信ツールの活用の記載があります。SNS 等、例えば Twitter のアカウント、私も詳しくないですが、閲覧数やいいねされた数、リツイート、それをフォローしている市民の数等の方がよっぽどアクティブで総合的な発信であったり、関心を持っている市民の状況を表していると思いました。

【 委員長 】

こちらに関して、事務局お願いいたします。

【 事務局 】

指標 11 の市のホームページ閲覧数ですが、こちらについては事務局としても、指標として相応しいか疑問があった中、辿り着いた結論であります。別の指標をとということで、実際にいただいたご意見であったり、他に良い案がないか、あるいは、指標を見直すことを検討していきたいと思います。

【 委員長 】

今事務局において、説明がありましたが、指標については再度の検討として整理していく方向でよろしいでしょうか。

また、他にご意見ありますでしょうか。

【 委員 】

一点気になっているのが、中学校の部活動について、令和 5 年度以降に学校の主導ではなく、地域へ移行されるという話があります。切り替えるタイミングが、令和 5 年度から令和 9 年度ということで、その期間に地域移行が完了するのか。その件について、計画に盛り込んでいけるのかどうかについて確認したいと思います。

【 事務局 】

部活動の地域移行の方針としては、スポーツを通じた地域活動の充実という中で、地域の団体に指導していただく、そういった構想はありますが、現時点において、今後どういった形で動き出すのかが見えておりません。

【 委員 】

おそらく、実施方法が課題になっていると思います。文科省では方針が出ているので、そういった方針をここに入れるかどうかという話ではありますが、具体的なやり方はこれから別の形で検討が進んでいくと思います。事業者への委託であったり、費用の面、それぞれの地域での対応等、検討を進めていくと思うのですが、そういう方針的なものが具体的に決まっていないということであれば計画には載せない方がいいと思います。

【委員長】

他の委員の方、ご意見いかがですか。

では、私から発言させていただきます。

計画があって、それが遂行されるのが今の段階で分かっているので、この中で全体に反映されるというよりは、今後そういう計画があり、注視・把握しながらこの計画を進めている。そのことを無視しているわけではないという意味の記述はあってもいいのかなと思います。

ただし、お話いただいたように細かくは掘っていないので、それを下手に盛り込み過ぎてしまうと、筋から外れてしまい、ちょっと見直しをということが生じてしまうかもしれません。ただし、今の段階で分かっている文科省からもある程度の情報は出ております。ホームページでも公開されております。なので、記述はあって良いと思います。ただ記述する場所について、どこが適切なのか、というところはしっかりと検討した方が良いと思います。皆様、他の意見はありますでしょうか。

【委員】

国の指針は示されているが、埼玉県からの指針がまだ示されていない。そのため、今、県の示されているものを見ながら紐解くという状態になるので、6ページの現在の社会情勢というところに、今いただいた文言の中の動きのようなものを、分かり得る範囲内で書き込むことができるのかを検討してもよいと思います。

【委員長】

今ご意見いただきましたが、このことにつきまして皆様いかがですか。特にご意見ありませんので、ご賛同いただいたということでよろしいでしょうか。

【事務局】

部活動の地域移行については、内容を検討のうえ、記載いたします。

【委員長】

それでは他に全体的なことでご意見をどうぞ。

【委員】

53ページの6番のスポーツ団体の活動支援について、指標の設定ができなかったように思えます。市行政として何をやるのか、というのが出てこないといけないと思いました。体育団体の支援や色々な団体への支援等、具体的にどういうことをやるのか、それによって団体の活動が盛んになっていくというところを今後設定していかなければいけないのかなと思いました。

③の総合型地域スポーツクラブの設置について、適宜情報の提供を行います。とありますが、意味が分かりづらいと思います。誰に何の情報を提供するのか分からないので、何をやるのかというところで、具体的にスポーツの活動支援に向けて、市としてできること、

やらなければならないことをもう少し具体的にしていかなければと思います。この辺についての知識がないので、他の方にご意見をいただきたいと思います。

【委員長】

ありがとうございます。それでは私の方から質問ですが、先ほど委員からこちらの指標について、例えば SNS を用いる等のご提案をいただいたかと思います。それ以外にも指標があった方がいいというような感じでよろしいでしょうか。

【委員】

そうです。私の意見があってるか分からないんですが、お金を払っているのであれば、助成をしている等、市が支援している状況を表すような指標を設定しなければならない。あるいは、スポーツ団体が行っている活動が盛んになったよ等、スポーツ団体の活動に対する指標を設定しなければならないと思いました。

【事務局】

今お話があった体育団体への活動支援という形では、スポーツ団体のひとつになりますが、和光市スポーツ協会に対しては、補助金を支給し活動いただいております。ただ、補助金の推移については、指標とすることが難しい部分もあります。また、体育団体の活動に繋がるかという観点からの話でいえば、例えばスポーツ協会の加盟人数を載せる等、検討が必要だと思います。

【委員長】

分かりました。

もうひとつが、総合型地域スポーツクラブの話がありましたが、具体的にもし総合型地域スポーツクラブの設置に向けて予算を取ったり、何か動きがない場合には表現を検討しましょう。

【事務局】

総合型地域スポーツクラブにおいては、市で設置するという位置ではありません。行政による設置でないため、支援という形にはなると思うのですが、そういった意味で立ち上げたいというお話をいただいた段階で、という立ち位置で整理させていただいたものになります。

【委員】

設置に向けた情報提供等、あるいは設置に向けた動きがあった場合に行政ができる支援、情報提供等、内容が分かるようにしてもらえばいいかなと思います。

【事務局】

ありがとうございます。今仰っていただいた設置に向けた情報提供というのは、分かりやすい言葉で載せさせていただきたいと思います。

【委員長】

他にいかがでしょうか。

先ほどの SNS についてなんですが、Twitter や Line 等は和光市自体のはあるみたいですね。ただ、ここでスポーツに関連したものを紹介していくと、SNS の怖さというのがあり、ホームページもそうですが、作るのはいいのだけれども更新ができずに、どんどん廃れていってしまう、むしろ廃れすぎてしまって全然使われていない、という印象を持たれ

てしまうというリスクがあると同ったことがあります。作れば良いということではなく、そこで誰が担って、どういう風に更新していくのか、というところが難しい問題であると思います。

【 委員 】

計画の全般について、計画自体は作ることより、実行することが目的なので、実行しやすいように最初から作ることが大事なかなと思います。

40 ページには大きく3階層、基本方針、施策の方向性、基本施策と書いてあるのですが、このページ以降に初めて指標が出てくるので、指標が少しどこに紐づくものかが分かりづらくなってしまっています。最終的には 40 ページの図一枚で次の計画を表すものになると思うので、ここに指標を含まれた方がよろしいかなと思います。

その上なんですけど、3階層の割り方が分かりづらいと感じます。基本方針と施策の方向性とあるのですが方針と方向性は同じ意味なので、意味合いの違いになっていないと思います。

言葉の使い方は色々あると思うのですが、一番大きいのが方針だとしたら、次が施策でその次は具体的な取組等小さくなっていくはずなんですけど、そうっていない分、言葉遣いを整理した方が良かったと思います。更に進んでいくと、この後のページには指標が出てくるのですが、指標というのは、今でいう2階層目の施策の方向性に直接紐づいているはず、いるべきなんですけど、それが一いたしていないのでズレを感じてしまいます。例えば先ほどの一番分かりやすいホームページの例等、ここも2階層目の方向性、スポーツ団体の活動支援となっていて、指標がホームページの閲覧数なので、本来計画としては、この二つが必ずイコールにならないといけない。ホームページの閲覧数が上がったならスポーツ団体の活動支援ができたかというときとそうではないということでズレが生じてしまっている。その他も一緒なんですよね。一いたしている所もあると思いますが51 ページのところ等、共生社会の実現という施策の方向性、その次で指標二つぶら下がっているのですが、この二つの指標が達成されたらスポーツによる共生社会の実現は達成されたのかということです。2階層目と指標の部分が一いたしていないところが散見されると思いますので、ちょっと見直した方が良かったかなと思います。全体に対しては以上です。

【 委員長 】

ありがとうございます。例えばなんですけど今指標の書いてある位置は 53 ページの場合、スポーツ団体の活動支援というところのすぐ下にありますが、例えばその後に第2階層と仰ってくださっている(1)(2)が終わった後の一番下に、ここの項目に関連づく指標としてといった感じで全体を表す指標ということですか。いかがでしょうか。どうしたらいいのかなというところがあればお願いします。

【 委員 】

これは指標を考え直すということにもつながり、本当だったら1階層目、2階層目、3階層目それぞれに全部指標があると思います。しかし、そんなことは難しいため、分かりやすさも含めて今回は2階層目のところにポイントの指標を置いていると思うのです。もししたら3階層目は担当の部署によってやるのが異なると思うので、2階層目の指標があっても良いとは思っています。

【委員長】

そうすると指標というか、母体になるものは既に数が限られていますね。データ数も分かっているわけですし。その中から適切なものをピックアップしていくということによろしいですかね。

40 ページの方なんですけど、今言ってくださっていた基本方針、施策の方向性、基本施策 3 つの言い方というよりも、例えば先に伺ったところで基本方針が第 1 階層、第 2 階層が施策、第 3 階層が具体的な取組という言い方を先ほどされていたと思うのですが、そういったような形のご提案ということによろしいでしょうか。

【委員】

はい。

【委員長】

そういったことも含めて事務局、いかがでしょうか。

【事務局】

今ご意見いただきました言葉の部分は、整理させていただきます。もう 1 つ、指標のお話については、第 1 階層、第 2 階層、第 3 階層のそれぞれに対する指標が基本的にはあり、その中で今回、各課の施策については、それぞれの目標値を持った取組及び実施すべき事項を上げてくださいというお願いをさせていただいております。

施策に対しての指標が的を射ていないと感じられるということで、53 ページのスポーツ団体の活動支援のところでは、ホームページの情報をより手厚いものとした結果、閲覧数が上がり、利用促進に繋がり、活動しやすくなるという考えで指標を設定したところです。お話いただいたとおりホームページ数というのが、どうしても各課施策に繋がるというのが見えていない、その部分については受け止めたいなというところでございます。確認させていただきます。

【委員】

43 ページ目の指標 1・2 なんですけど、指標 1 は私は全体にかかる指標なのではないかと思います。40 ページの図で言うともっと上というか、指標全体の上というか、計画でもモニタリングしていました。これは計画全体の一番重要な指標としてモニタリングし続けることが大事。2 階層目の指標に入っていることが違和感であったので。そうするとライフステージに応じたというパートで何を入れるべきなのか、年齢層期で集計できるなら集計して、ライフステージ別にスポーツをする人が増えているのか等、こういう指標を代わりに入れた方が良いと思います。

【委員長】

ありがとうございます。今の委員のご意見は指標 1 を上に上げて、他の指標をとるところですが、事務局いかがでしょうか。

【事務局】

週 1 回以上のスポーツをする人の割合、指標 1 については、現計画における絶対的な最終目標ではありませんが、大目標という形で提示するべきだというご意見は、仰るとおりと考えます。

【委員】

よくよく見てみると指標の配置がどうなのかなと私は思っています。取組があって、一番最後に指標があるとなんとなく理解できる部分があると私は思います。位置を変えるだけでもクリアできるものかとも思います。

【委員長】

ありがとうございます。他の委員はいかがでしょうか。項目に入れ込むと、どうしてもそこの整合性を取りたくなってしまうので違和感を感じられるんですが、41 ページの基本方針、指標の一覧を入れたらいいとお話もありましたが。

【委員】

今回の制度設計では、40 ページの2階層目に指標が一いたするように設計されていたので、それなら入れてみていいのではないのでしょうか。

【委員長】

今のご提案は、そういった意味でも指標の位置自体を別のページで取り上げてみるのはいかがかというご意見だったかと思いますが、それに関して皆様いかがですか。

【委員】

例えば 56 ページにまとめて載せてしまうと、体裁が整うと感じられるのではないかと考えます。

【委員長】

これまでのやり取り、指標を入れ変えたり等の検討をする時間が少し難しいのかなというところもあって、分かりやすさという意味でも大切なことだと思いますので、一つのページにまとめることで整理するのはいかがでしょう。

事務局いかがでしょうか。

【事務局】

今いただいたご意見、時間がないということを勘案していただいた上でのご意見だと思いますが、そちらの組立を考えて編集をさせていただければと思います。

【委員】

別の話にはなりますが、例えばこのスポーツ推進計画を策定することによって市民の皆様に何をアピールしたいか、どういう風になってもらいたい、そういったことがシンプルに分かりやすい方がいいのかなと思いました。指標をまとめて、整備してホームページに掲載する等、色々なご意見を聞いていて、なるほどなと思っていたんですが、例えば全体に関わってしまうのですが、スポーツ推進計画がどういうものか市民の皆様に見てもらって、こういうことなのねというように分かりやすいものがあったもいいのかなと思いました。

【事務局】

次期計画については、現計画と同様に健康をキーワードとして、組み立てられたものになります。そのため、伝えたいことが何であるかを整理し、構成を検討したいと考えます。

【委員】

計画自体については、かなりの量がありますので、簡潔で分かりやすい概要版を作成し、周知を図ることが、有効だと考えます。

【事務局】

計画の策定後には、今お話いただいた概要版の作成をいたします。

【委員長】

他にご意見等ありますか。大丈夫でしょうか。

【委員長】

それでは議題1については、以上といたします。

議題2 その他について

【事務局】

事務局より「その他について」として、今後の進め方を説明させていただきます。

ただいま、様々なご意見をいただきました。反映できる点については、見直しをさせていただきますと思います。

全体構成のお話であったり、対応できる時間的な制約があって申し訳ないんですが、対応できる、できないというのが出てきてしまうなと思います。いただいたご意見を早急に見直しをかけさせていただきます。その結果については、パブリック・コメント実施の前に皆様の手元にお渡しし、今一度見ていただき、その手続きを経て、1月からパブリック・コメントを実施し、ご意見いただきたいと思います。

パブリック・コメントの予定としては令和5年1月22日から令和5年2月13日まで実施させていただいて、市民の方のご意見をいただく予定です。その後3月の定例教育委員会に計画策定の報告をさせていただきます。

本日は貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。説明については、以上になります。

【委員長】

説明が終わりましたが、全体を通してのご意見はありますか。

【委員】

第5章についてになりますが、これは計画を定めた後、基本的にはモニタリングというか、計画がどう進行しているかというのは、確認する場所はないということでしょうか。

【事務局】

事務局としては、毎年の進捗を各課への問い合わせ等の実施で、把握していきたいと考えております。

また、進捗の管理方法について、アンケートに委ねているという部分が数多くある形になります。アンケートについては、毎年実施は難しいので、5年間の計画の中で、2～3年経過した段階で、進捗管理のためのアンケートを実施するということは計画しています。

【委員】

現行の計画についての評価、モニタリングが全然されていないと言われたことが気になっているので、そこを改善しないと、おそらく計画の中身、何が行われているか、分からないまま時が流れて、2～3年後の見直し等、5年後の改定時にまた同じようなことが起きてしまうのではないかなと思います。例えば、実施した内容についてのレポートをまとめてもらう等、それをどういう形で検討するのか、スポーツに関する専門的な審議を行う

場だけではなくていいと思うので、教育委員会の審議会の中で、こういうところが進めますよというところをモニタリングしないと、計画は計画することではなく、何をやったのかが大事なので、それをしっかりと機能させる場所がないというのが、一番の欠点なのかと思います。それを5章のところに書き込んでいただきたいと思います。難しいとは思いますが、工夫しないと厳しいなと思います。

【 委員 】

中間見直し、最終評価の場でしか検討の場がないことになってしまっていたかと思います。その間に何か資料を残したり、文章に書いたり等、モニタリングをしっかりと、評価しきれない部分が残ると思います。昨年度の実行状況について、各課では取りまとめてしっかりやってきました。指標だけのモニタリングではなく聞かれた内容が遂行されているかというところをしっかりと市の方でも確認していくということを書かないと、作っただけでは意味がないと思います。

【 事務局 】

今お話がありました進捗管理としましては、各課施策について、数値化できるものは毎年把握させていただくと呼びかけをしています。それに対する評価を行う予定ではありません。実際指標の中で意識調査、アンケートについては毎年行えないのですが、毎年追えるものについては、適宜管理を行っていく予定です。

【 委員 】

分かりました。

【 委員長 】

以上、皆様のご協力により全ての議題についての協議が終了いたしました。

これもちまして、本日の運営委員会の議長の職を降ろさせていただきます。

【 事務局 】

本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。

本日いただいたご意見については、事務局の方で対応させていただいて、皆様のお手元への配付、確認をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。